

|        |              |     |  |
|--------|--------------|-----|--|
| 所 属    | 基盤整備部 公園緑地課  |     |  |
| 担当(係)名 | 平成記念公園整備グループ | 内 線 |  |

|                     |             |               |
|---------------------|-------------|---------------|
| (款) 8 土木費           | (項) 5 都市計画費 | (目) (4) 都市公園費 |
| (明細書事業名) 平成記念公園整備事業 |             |               |

1 当初予算(要求)額(千円)

991,609

2 当初予算(決定)額(千円)

|                |        |        |         |         |         |
|----------------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 981,629        | 【財源内訳】 | 国庫     | 県債      | その他     | 一般財源    |
| (前年度3,441,176) |        | 75,000 | 235,000 | 102,417 | 569,212 |

3 事業概要

【整備場所】 美濃加茂市山之上町及び蜂屋町地内

【面積】 開園面積 約80ha (計画区域 約160ha)

【事業主体】 県

【整備コンセプト】

「人と人、人と自然との共生」を理念に、豊かな自然と共生しながら循環型社会を形成してきた昭和30年代前半までの山里の景観を再現する「日本昭和村」をコンセプトに、古き良きものを見直す「温故知新」運動の舞台、県内産農林水産物をはじめとする県産品等の見本市、及び県下の道の駅・観光の総合情報センターとしての役割を持つ複合拠点施設として整備する。

【整備概要】

正面広場ゾーン

高木を列植した駐車場と東海環状自動車道のハイウェイ・オアシス(平成17年オープン予定)からなるエリア。

当県の農林水産物・県産品・土産物等を紹介、展示、即売する施設や青空市場、県下の道の駅・観光の総合情報センター、銭湯(平成16年オープン予定)、バイオマスプラント(平成17年整備予定)などを整備する。

昭和村ゾーン

昭和前期をテーマに、県民から寄付いただいた民家や古木を活用して、自然と共生していた時代の山里の景観(里・街・村)を再現するエリア。

昭和前期の風俗文化等の参加体験施設、能楽堂(平成16年オープン予定)、芝居小屋・映像館、茶室、自然の小川風の水路、デイキャンプ場、棚田、畑(花畑、茶畑、桑畑、野菜畑)などを整備する。

自然ふれあいゾーン

周辺林地部と一体化させ、自然を体験するエリア。

昆虫や小鳥が息息する里山林、山里の散策道、果樹園、子供達が遊び回れるじゃぶじゃぶ池、手漕ぎボートを浮かべた池などを整備する。

野外活動ゾーン

緩傾斜の広大な空間で、大規模なイベントにも対応できるエリア。

芝生広場、イベントホール(平成17年オープン予定)、キャンプ場、動物ふれあい広場、カヌー体験ができる運河、花畑などを整備する。

【今後の予定】 平成15年4月16日開園

開園後は、「2005年日本国際博覧会」に向け施設整備を推進

4 施策の効果

「美濃ミュージアム街道」の中心拠点として、また、「2005年日本国際博覧会」を支援する県内主要施設として公園を整備

能、狂言、謡曲、邦楽、地歌舞伎をはじめとする伝統芸能や郷土芸能、大道芸等に親しみ、古き良きものを見直す「温故知新」運動の舞台づくり

県内の農林水産物の見本市「飛騨美濃農業見本市」や県産品・土産物等の展示販売施設の整備、新たな雇用創出など、即効性のある地域経済対策

県民から寄付いただいた民家や古木の移築・移植、昭和前期の風俗文化等の再現や子供向けの自然環境学習等を支援いただく県民ボランティア組織づくりなど、「県民協働型」で公園を整備  
水生植物や小魚、昆虫等が生息できるビオトープの整備、木質系バイオマス発電の試験的導入など、自然環境保全に先駆的に取り組み、環境重視型の公園を整備

## 5 要求の内容

< 主な要求項目 >

(公共)

ハイウェイ・オアシス連結路工事: 250,000千円

・連結路工事

・連結路工事委託事業(国土交通省)

(単独)

公園内施設の工事等: 234,080千円

・能楽堂等建築工事

・植栽、庭園工事

岐阜県土地開発公社委託料: 500,512千円

・平成13年度、14年度委託分

(その他)

平成記念公園整備推進に要する経費: 4,600千円

・建物登記関連業務委託費

・開会式典開催事業費

・運営委員会等運営費 等

平成記念事業推進に係る経費(標準的経費): 2,417千円

< 債務負担行為 > 534,552千円

・銭湯建築工事

・民家移築工事 等

## 6 用語の解説

ハイウェイ・オアシス

都市公園等の中に高速道路の休憩施設と連結した駐車場を設置し、高速道路の利用者が直接高速道路から乗り入れ、ここを介して公園内へ行くことができるようにしたもの。

バイオマスプラント

石油資源の枯渇が迫り、二酸化炭素の排出などによる地球温暖化が深刻となる中、再生可能で、燃焼させても地球規模では二酸化炭素の増加につながらないバイオマス(木質系廃棄物・食料・飼料の残り屑等生物系廃棄物)を燃料とする発電方式。

ビオトープ

野生生物が共存共生できる生態系をもった場所という意味で、ドイツ語の生物を意味するbioと場所を意味するtopeの合成語。生態系の崩壊が問題となっている今、ビオトープの復元は地域の生態系を守る上で大切。

## 7 決定内容

(公共事業)

ハイウェイ・オアシス連結路工事: 150,000千円

(単独事業)

公園内施設の工事等: 224,100千円

岐阜県土地開発公社委託料: 500,512千円

平成記念公園整備推進に要する経費: 4,600千円

平成記念事業推進事務費: 2,417千円

(受託事業)

ハイウェイ・オアシス連結路工事: 100,000千円

< 債務負担行為 > 489,000千円